

# 長浜統合新校 応募校名一覧

○ 応募総数 139件    応募校名数 85点

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
1	長浜北	ながはまきた	長浜北高は100年の伝統をもつ。長浜高校の敷地に設置されるので、校名は長浜北が望ましい。
2			名前だけでも残して欲しい。
3			名前だけでも残して欲しい。
4			伝統ある校名を残した方がよい。
5			長浜高校の皆さんは場所を受け継ぐので、長浜北高卒業生としては名前を受け継ぎたい。
6			場所は長浜高校になるので、せめて北高の名前を残してもらわないと卒業生としては困る。
7			長浜高校は場所が残り、忘れられることはない。せめて北高の名前だけでも残してもらわないと卒業生としては困る。
8			校地は移転するので名前だけは残して欲しい。歴史や市民の納得度の違いを考えれば、長浜高校のO日からも異論は出ないはず。
9			長浜北の校舎がなくなるので、名前を残して欲しい。
10			歴史ある長浜の地に歴史ある校名を残してほしい。地域に浸透している名前、県の北の地、長浜の地にあることを語る名前。
11			103年の歴史と伝統に培われた校名。県民に広く親しまれている。特に長浜市民には憧れの校名。対等統合として長浜高校は校地が残るので、名称は長浜北にしてほしい。
12			歴史と伝統があり、多くの立派な先輩を輩出し、誰からも親しまれ愛され、長浜の誉としてきた長浜北高。この校名をぜひ後世に残してほしい。
13			伝統ある校名を残した方がよい
14			伝統ある校名を残した方がよい。
15			「湖北」「長浜」という地名から、この名前が良いと思う。
16			伝統ある校名を残して欲しい。
17			北高の校名の存続を望む。
18			北高の校風と伝統を受け継ぐという強い意志を表すため。
19			長い伝統のある校名を残して欲しい。
20			地域になじみがある名前。長浜高校の校舎を使うなら名前は「長浜北」とすることでバランスがとれる。卒業生として、校舎か名前のどちらかは残して欲しいという気持ちが強いのではないかと。
21			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
22			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
23			卒業生として校名を残して欲しい。歴史の長さが違う。
24			地域文化の中心となる伝統校名を願って命名した。両校の校風や活力はそれぞれに個性があり、この良い面をお互いに出し合い、今後さらに発展することを願う。
25			統合されることが、今後の両校にとって発展的に、ますます展望が開けるものであるためにも、両校の歴史や校風、地域とともにある学校ということから総合的に判断。両校の校名が表示してある長浜北にした。
26			両校の校風や活力はそれぞれに個性があり、この良い面をお互いに出し合い、今後の更なる発展を願った。さらに地域表示も長浜と長浜北の2校の校名は息づいていて、今後さらに発展していくイメージがある。
27			両校の名前を引き継ぎ、新しい出発してもらいたい。
28			長浜高校は敷地が残るが、長浜北高は移転してしまい今までの敷地はなくなる。敷地の代わりに名前だけは残すべき。
29			場所は変わっても、校名だけは伝統と歴史のある校名を残して欲しい。
30	長浜開知	ながはまかいち	長浜に創立された県下最初の小学校が明治7年に「開知学校」となる。この学校の建築費は、すべて地元の人々の寄付金によるもので、多くの人材を世に輩出。このような気概をもった長浜の新校名に「開知」を入れることがふさわしい。
31			長浜には、滋賀県で初めての小学校ができ、その第一小学校が「開知学校」と呼ばれたという歴史がある。この長浜での近代教育のスタート時の校名に、伝統ある長浜北高の新たなスタートを託したい。
32			滋賀県で初めてできた長浜第一小学校が「開知学校」と呼ばれたことに由来して。
33			「開知＝知を開く(学力の高い学校を期待)明治4年、県下初の小学校が長浜に誕生。同7年「開知学校」として、移設開校(経緯が似る)。長浜町衆の教育の高さと教育のさきがけのシンボル。「開知」を使った高校は他にないのでは。
34	開知学校に因んだ。知を開くこと、長浜や地元の人たちに親しまれ、支持されることを願って命名。		
35	長浜中央	ながはまちゅうおう	湖北、湖東の中心になる高校を目指して欲しいから。
36			長浜の中心的高校になって欲しい。
37			長浜駅に近い、長浜の中心にあるから。
38			地域の中で、学業および規模などにおいて中心的役割を担う学校として、末永く隆盛していくことを念じている。
39			長浜の中心的存在になって欲しい。
40	新長浜北	しんながはまきた	100年の歴史ある校名は残すべき。校名は両校を足した名前になっており、地元の間にはこれが一番納得できる。長浜北高校の名前がなくなることは断じて許しがたく、統合校の名前は「新」をつけて「新長浜北」を希望。
41			100年の歴史ある校名は残すべき。
42			100年の歴史ある校名は残すべき。
43			100年の歴史ある校名は残すべき。
44	豊臣	とよとみ	全国の人が知っている。国を思っている。不屈の精神力。
45			長浜に縁があり格好がよい。
46			長浜に縁があり格好がよい。
47	豊臣秀吉により、地域の発展があり、現在の長浜市の基礎になっていることから。		
48	琵琶湖	びわこ	日本一の湖が近くにあり、校名だけで県名もわかるから。
49			滋賀県のシンボルである琵琶湖の近くに位置し、琵琶湖のように広く澄んだ心を持つ生徒を育てる。
50			琵琶湖の近くにある。略して呼ぶ時に「びわ高」、「びわ生」となり、おさまりがいい。
51	滋賀県のシンボルである琵琶湖の近くに位置し、琵琶湖のように広く澄んだ心をもつ生徒を育てる。		
52	長浜桐豊	ながはまとうほう	両校に縁のある桐と、豊かな心と体を育てて欲しいという願いを込めた。
53			両校に縁のある桐と、豊臣秀吉の名から1字をとった。
54	長浜といえば秀吉、両校の同窓会館にも桐の名が付く。今後の発展を期して「豊になる」、「豊臣秀吉」の豊を合わせて。		
55	今浜	いまはま	温故知新という意味も込めて、長浜の古名「今浜」に、現在の長浜という意味も含めて「今浜」に。
56			長浜の古名にちなんで。その今浜から改名した人は「豊臣秀吉」で、長浜高校とも深い関係がある。
57	北長浜	きたながはま	北高と長浜高校を合わせ、リニューアル感を出す。
58			北高と長浜高校を合わせた。
59	秀徳	しゅうとく	品のある行動を自然にとれる徳の高い人を目指す。優れた人を目指し、勉学にも部活動にも一生懸命になり、努力を忘れずに取り組む姿勢を大切に。人徳を持ち、困った人には手を差し伸べることのできる善の行動ができる生徒を育てる。
60			優秀で道徳のある高校になって欲しい。
61	長浜秀峰	ながはましゅうほう	豊臣秀吉のように、日本において秀で、伊吹山のように湖北で、グローバル社会で秀峰となる人材を育成する学校を目指す。
62			地域において、学育、体育、道徳などの各分野において、中心的役割を果たす学校。
63	長浜第一	ながはまだいいち	両校の歴史を重んじて命名。
64			滋賀県北部に位置する長浜に、世界に羽ばたく若者を育み、第一等の人材作りを目指す。
65	長浜北陽	ながはまほくよう	長浜北星と対応する形で、北の輝く太陽となる高校。
66			太陽のような明るい学校になって欲しい。
67	長浜未来	ながはまみらい	未来に向かって発展して欲しい。
68			北高の伝統を受け継ぐだけでなく、長浜の未来を創る人材育成を意識した学校。

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
69	北	きた	滋賀県北部にある学校だから。全県下から生徒が通う学校になるように、あえて地名を外した。
70	北近江	きたおうみ	長年親しまれた北高という呼び方が残れば良いと考えた。
71	北琵琶湖	きたびわこ	北にあり、琵琶湖の近くにあるため。
72	桐一葉	きりひと	両校が桐を校章としているため。
73	貴和三	きわみ	和をもって貴しとなす。やわらかく、なごむ、仲良くする、平和、協和。 三校:長浜高校、長浜北高校、長浜高等女学校 三方良し:先生、生徒、保護者 きわみ:最後まであきらめずに極める。
74	佳愛	けいあい	佳は「かしこい」、「愛」は愛されるという意味がある。
75	啓暎	けいめい	先の見えない道があっても恐れず先駆者として道を開く生徒を育てる学校。
76	江北	ごうほく	秀吉が今浜から長浜へと改めたおり、江北の政所となせし時、武運長久を祝し、江北とは近江の北の地。絵画11は進歩的發展数。
77	光陽	こうよう	太陽のように世界を照らす、暖かい心豊かな生徒が育つ学校になって欲しい。
78	湖國長浜	こくながはま	滋賀県には琵琶湖に関連する校名がない。勉学、部活動に励み、琵琶湖のように大きな存在、人材になることを目指して欲しい。
79	湖北	こほく	湖北の中心となって欲しい。
80	湖北長濱	こほくながはま	「縮緬」で名高いこと、あえて湖国滋賀の地名を重視して、「濱」の文字で「湖の北部に位置する長濱の高校」と名付けた。
81	翔徳	しょうとく	のびのびとした学校生活を送り、徳のある人間を養成する学校を目指す。
82	新星	しんせい	新校ができるということで「新」の文字を、北星高校に対峙する意味で「星」という文字を取り入れた。
83	新生長浜北	しんせいながはまきた	北高の伝統を受け継ぐだけでなく、新しい時代の要請に応えられる学校。
84	新中央長浜	しんちゅうおうながはま	長浜に2つあった高校が1つになるから。
85	生翔	せいしょう	この学校で生き生きと学び、生き生きと人生をばたいていく。
86	双桐館	そうとうかん	両校ともに桐にゆかりがあり、桐のように凛々しく真っすぐに伸びて欲しい。
87	大長浜	だいながはま	湖北で何事においても一番を目指す。その自覚が持てるような大きな名前。
88	長山	ちやうざん	長浜の長と伊吹山の山。
89	豊浜	とよはま	豊田秀吉の「豊」。豊という字のように、この学校に通う人の心が豊かになるように。
90	長浜	ながはま	長浜高校の所に学校が建つので、校名もそのままがいい。
91	長浜暁	ながはまあけぼの	(記入なし)
92	長浜新	ながはまあらた	新たな出発としてエールを込めた。
93	長浜開智	ながはまかいち	旧開智学校が、人材育成の必要性を感じた長浜市民の寄付により建てられ、長浜の近代教育の場として寄与してきたことに因み、地域に根ざしたグローバル社会で活躍できる観智「Wisdom」を育む学校を目指したい。
94	長浜開明	ながはまかいめい	長浜をつけた理由は、今までとおり地域に根付いた高校であり続けて欲しいという願いから。開明は明るい未来を自らが切り開くという雰囲気を出している。明治維新のような新しい幕開けという意味も含んでいる。
95	長浜華泉	ながはまかせん	(記入なし)
96	長浜涵養	ながはまかんよう	「涵養」には自然にしみ込むように、徐々に養育するの意がある。高校生活を通して、学習により得た知識、知能、クラブ活動で身につけた技能、精神力、日常生活で培った友情や他人を思いやる心を確実に養育する学校。
97	長浜輝多	ながはまきた	長浜北の名前を音だけでも残したい。生徒が輝く場面が数多くある学校。
98	長浜北連合	ながはまきたれんごう	2つの学校が統合されるということから。
99	長浜紅陵	ながはまこうりょう	言葉の響きが良かったので、この名前にした。新しい学校で一人ひとりが何か目標をもって熱く燃える学校になればいい。
100	長浜国際	ながはまこくさい	新しい英語教育のモデル校になる学校だから、生徒にアピールできる名前ということで、「国際」の文字を入れた。
101	長浜湖城	ながはまこじょう	琵琶湖や長浜市を見守る長浜城の名称からとった。
102	長浜東雲	ながはましのめ	(記入なし)
103	長浜秀明	ながはましゅうめい	明朗・快活でさまざまなことに秀でた生徒を育ててほしい。
104	長浜熟成	ながはまじゅくせい	高校生が減少する現在、勉学が低下している時代、今一度統合し、学に熟し、人格を成する人格を育ててあげて欲しい。
105	長浜城下園	ながはまじょうかえん	市内の高校に長浜城の名を残していないのが大変残念。城下の園で勉学に励み、世の人のために貢献できる人材を育ててほしい。
106	長浜城智	ながはまじょうち	県内外の方からも知名度の高い長浜城の「城」でどこにあるのかすぐにわかり、かつ生徒への望みを込めて物事を会得する、知恵や技術に優れている意味の「智」をつけた。
107	長浜城東	ながはまじょうとう	長浜市のシンボル長浜城の東側に校舎が建設されることから。
108	長浜新鋭北	ながはましんえいきた	新しい時代に鋭い感覚をもった生徒を湖北で育てるため。
109	長浜新星	ながはましんせい	新しい統合校ができるため。永遠に光り輝いて欲しい。
110	長浜新風	ながはましんぷう	未来に向かって、新しい風を吹かせて欲しい。
111	長浜清香	ながはませいか	(記入なし)
112	長浜青萌	ながはませいほう	新しく誕生した初々しい高校として、何事にもチャレンジして、若者らしく力強く前進して欲しいと念じて。
113	長浜双竜	ながはまそうりゅう	双:東に伊吹山、西に琵琶湖と2つの大きな自然に恵まれている。地域と学校が共に歩むこと、長浜、長浜北の2校の意味もある。竜:長浜高校の南には長浜新川が流れているので川を意味。天に昇る竜の如く卒業生が世界にはばたくことを願って。
114	長濱中央	ながはまちゅうおう	「濱」は伝統という意味も込めて「浜」を使わず、新校の周辺の観光地でも「長濱」という表記が使われている。新校もあえて「濱」という字を使うのが良い。「中央」というのは、長浜市内の中央的存在になって欲しいという意。
115	長濱桐蔭	ながはまとういん	他府県の例からも、落ち着いた伝統校で、進学・運動両面に優れた実績を残しているイメージがある。また「桐」は太閤秀吉にちなんだ紋章であり、両校とも桐をアレンジした校章を使用。
116	長濱桐桜	ながはまとうおう	地元になじみの深い豊田家の家紋の桐と、豊公園の桜にちなみ、地域に根ざして発展していける校名をイメージした。
117	長濱桐萌	ながはまとうほう	北高のシンボルである桐の木。生徒の人格の陶冶を目指し、その端緒をつける。
118	長濱桐豊館	ながはまとうほうかん	両校に縁のある桐と、自由な発想で長浜の町を治めた豊田秀吉の1字をとって。
119	長浜・長北英光	ながはまながきたえいこう	互いの歴史を大切に仲良く、地域の人にも、両校が存在し続けている認識を持ってもらいたい。
120	長浜南星	ながはまなんせい	湖北の若者を支える主力になって欲しい。長浜市の中心から南西に位置し、生徒が輝けるように願って。
121	長浜西	ながはまにし	長浜市の西方に位置し、わかりやすい。
122	長浜濃山	ながはまのうざん	「濃山」とは、琵琶湖の周囲の緑こまやかな山々を示す言葉。ふるさとの山々を仰ぎ見つつ、のびやかに育ち、ひたむきに学ぶ高校生の姿を思い描き校名とした。「のうざん」は英語の「Northern」に通ず。
123	長浜ひょうたん	ながはまひょうたん	秀吉縁の長浜に因んで「ひょうたん」を入れた。瓢箪は、旧長浜市の市標にも使われていた経緯があり、市民にはなじみがある。
124	長浜琵琶	ながはまびわ	高校には琵琶のつく学校はなく、場所も琵琶湖に近い所にもなる。日本中の人に覚えてもらいたいと思う。
125	長浜ブライton	ながはまぶらいとん	Brightは明るいという意味に加えて、利発な人間的に優れた人を使う。新校の教育目標である人格陶冶につながる。カタカナ表記は、新しい国際教育を推進する学校にふさわしく、音もリズムカルで躍動的であり、県南の生徒からも憧れの学校として映るはず。
126	長浜豊栄	ながはまほうえい	秀吉公が長浜の地に長浜城を築き、大いに繁栄した歴史に鑑み、悠久に地域住民から親しまれ栄える学校となるよう願って。
127	長浜豊翔	ながはまほうしょう	大きく羽ばたいて欲しい。
128	長浜豊徳	ながはまほうとく	長浜の地で、学業、体育はもちろん、現代社会に求められている「徳育」を最重点テーマに、良識ある社会人作りを目指す学校。
129	長浜北凜	ながはまほくりん	凜として生きて欲しい。
130	長浜明星	ながはまめいせい	新校として「明の明星」といわれる金星のごとく、未来に向かってはばたき、光り輝く長浜のシンボル高校となるように。
131	長浜律翔	ながはまりっしょう	自らを律し、未来へはばたく人物を輩出して欲しい。
132	ノーザンレイク	のーざんれいく	琵琶湖と滋賀県の北部に位置する学校だとわかるように。
133	浜北	はまきた	両校の校名を名残り惜んで命名。
134	浜咲	はまさき	長浜という地に、両校の良い所をいっぱい咲かせてほしい。
135	曳山	ひきやま	長浜市の伝統である曳山祭りの名前を入れ、地域の誇りと伝統を大切にしている学校を目指す。
136	琵琶城北	びわこじょうほく	琵琶湖に由来。「城北」は豊田秀吉が築城した長浜城から、そして両校が滋賀の北湖に位置することから。
137	豊城	ほうじょう	文武両道と礼儀をわきまえた若者を育成する場として、心身ともに豊かで強い生徒であって欲しい。豊田秀吉の縁の地であり、長浜のシンボリックな城をイメージした。
138	びわこ	びわこ	滋賀県を象徴する。
139	明光	めいこう	入学した生徒が部活動や勉学に励み、明るい未来を手に入れるための光のような学校になって欲しい。